

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会
(事務局：JA 福岡中央会担い手サポートセンター営農振興担当)
(公 印 省 略)

営農情報 5

高品質な麦生産に向けた今後の管理について

本年の麦は、2 月以降の高温の影響により、生育量は平年並～やや多く確保され、出穂期は平年より早くなると予想されています。また、九州北部地方の 1 か月予報（3/25～4/24：令和 5 年 3 月 23 日福岡管区气象台発表）によると、向こう 1 カ月の気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並みの見込みです。

今後、「赤かび病防除」や「穂揃期追肥」といった麦の品質を大きく左右する重要な管理作業があります。全体的に生育が早い状況に加え、播種時期の違いにより麦の生育が大きく異なっていることを踏まえ、生育に応じた適期作業の実施をお願いします。

さらに、再度、排水溝の溝さらえや排水口の整備を行うなど、排水対策の徹底をお願いします。

1 出穂期予測（参考）

麦の出穂期は平年より早く、11 月中下旬播種で 3 月下旬（3 月 24～29 日頃）になると予想されます。九州北部地方の 1 か月予報では、3 月下旬～4 月上旬は気温がかなり高くなる見込みであり、下表の予想出穂期よりやや早まることも予想されます。

麦類の出穂期予測（農林業総合試験場農産部（筑紫野市）、筑後分場（大木町））

播種日	場所	品種名	予想出穂期	平年差
11 月 18 日	農産部	チクゴイズミ	3 月 29 日	6 日早い
		ラー麦(ちくし W 2 号)	3 月 28 日	6 日早い
	筑後分場	シロガネコムギ	3 月 29 日	4 日早い
		ラー麦(ちくし W 2 号)	3 月 27 日	4 日早い
11 月 24 日	農産部	ほうしゅん	3 月 24 日	11 日早い
	筑後分場	はるしずく	3 月 26 日	3 日早い

注) 予想出穂期は、3 月 20 日以降の気温が平年並で推移した場合の予測値。

今後の気象経過等による誤差があるため、あくまで参考として下さい。

2 麦種別の赤かび病防除適期

- 小麦、はだか麦：開花期（出穂後 7～10 日頃）～開花最盛期
- 二条大麦：穂揃期の約 10 日後（出穂後 12～14 日頃、蒴殻が抽出する時期）

※「ラー麦(ちくしW2号)」、「ミナミノカオリ」、「はるか二条」、「イチバンボシ」は、赤かび病に弱いので、必ず2回防除を行う。

※その他の品種についても、防除実施後に降雨や曇天が続き、多発が予想される場合は、1 回目の 7～10 日後に 2 回目の防除を行う。

3 穂揃期追肥

- ・「ラー麦(ちくしW2号)」、「ミナミノカオリ」は、目標タンパク質含有率 12% を達成するよう、穂揃期追肥を確実に実施する(窒素成分で 5 kg/10a)。
- ・穂揃期追肥の効果が最も高い時期は、穂揃期(出穂後 2～4 日頃)～穂揃期後 7 日。
- ・なお、葉面散布を行う場合は、高温時を避け、開花期と開花期後 7 日頃に 2 回、それぞれ窒素成分で 2.5kg/10a を施用する。
- ・毎年タンパク質含有率が低いほ場や、葉色が淡いほ場等では、以下の対策をとる(穂揃期追肥は、倒伏への影響は小さい)。

品 種	対 策
＜日本めん用小麦＞ シロガネコムギ・チクゴイズミ・ニシホナミ	穂揃期追肥として、10 a 当たり窒素量 2 kg 程度を施用
＜パン・中華めん用小麦＞ ちくしW2号、ミナミノカオリ	穂揃期追肥の窒素量を 10 a 当たり 1～2 kg 増量して施用

※葉面散布の場合、濃度が濃くなると葉焼け症状が生じるため、追肥の増量はしない(濃度の上限は窒素成分で 2.5kg/10a まで)。



小麦が出穂した状態



小麦が開花した状態

《出穂期、穂揃期の見方》

○出穂：穂先が最上位葉の葉鞘から現れる現象

○出穂期：ほ場内の 40～50% が出穂した日

○穂揃期：ほ場内の 80～90% が出穂した日

※出穂が極端に早いほ場では、開花期までの出穂後日数が通常の 7～10 日より多くの期間を要するため、開花の開始時期を確認し、作業を行いましょう。